

# 淡水魚水族館を見学



所要時間	1～2時間
対象学年	小学生～中学生
関連事項	関川で魚とり



## ～概要～

科学実験室内に川やため池、湿地などにすんでいる淡水魚を展示しています。それぞれの魚の形態や生態について学習したり、飼育の仕方を学んだりできます。メダカも飼育しています。裏の池にはたくさんのメダカやモツゴなど小魚が繁殖しているので、捕獲して観察、飼育をすることができます。

# 1 活動のねらい

- ・川や小川、ため池には様々な生き物がすんでいて、それぞれの生き物は体形や生活の仕方も異なっていることを知る。
- ・魚の観察を通して、魚はどのように産卵し、どのように育っていくか、また、生き物同士は互いに関係をもちながら生きていることを知り、生き物への関心を高めていく。

## 2 活動場所

- ・実験室内及び裏の池

## 3 準備品

- ・団体・個人で用意するもの⇒観察ノート、筆記用具
- ・理科センターにあるもの：小型観察ケース、
  - ・ルーペ、
  - ・双眼実体顕微鏡
  - ・バット、
  - ・ピンセット、図鑑



活 動 内 容	
はじめ	<p>① 活動の目当てを各自で確認する。</p> <p>地域の川や池、水田や用水にはたくさんの生き物がすんでいて、どんなものがいて、どんなくらしをしているのか調べていくことをねらいとすることを確認する。</p>
活動	<p>① 水そうには1～2種類の魚や水生生物が入っている。説明板を読みながら一通りみていく。</p> <p>② 自分が一番興味をもった魚から、観察ノートに記録していく。</p> <p>※ どのような形をしていて、どのような所にすんでいるか、エサは何を食べているのかなど、観察の視点を示してやるとよい。</p> <p>・小型観察水そう      ・双眼実体けんび鏡      ・網      ・ピンセット</p> <p>・参考図書や図鑑など自由に使ってよい。</p> <p>③ 生き物と生き物との関係について調べてみよう。</p> <p>・池や小川にいるメダカは、何を食べているのか調べる。</p> <p>・裏の池からメダカを捕ってきて、池にいるミジンコなど微生物を与えてみる。</p> <p>・ドブガイなど2枚貝とタナゴの関係などについて調べる。</p> <p>④ 絶滅が危惧される「シナイモツゴ」につて話を聞く。</p> <p>・理科センターの水槽で、シナイモツゴが産卵する時期に、卵を分けてやるので、育てて増やしていく活動も可能。</p>
まとめ	<p>① ふりかえりの活動</p> <p>次のような言葉かけをして活動を振り返ると良い。</p> <p>・地域にすんでいる水の中の生き物を観察してどうでしたか？</p> <p>・魚などを観察してどんなことに気付いたり考えたりしましたか？</p> <p>② 後かたづけ、ごみを拾って始末しましょう。</p>